

下野市人権推進審議会 議事録

審議会等名 令和6年度 下野市人権推進審議会
日 時 令和6年8月5日（月） 午前10時00分～11時30分
会 場 下野市役所 304会議室
出席者 長谷川万由美委員、若松恵美子委員、松本文男委員、
鈴木健一委員、赤羽洋子委員、松山正子委員、
伊澤巳佐雄委員（総合政策部長）、高山正勝委員（教育次長）、
荻原剛委員（健康福祉部長）
欠席者 山根吉雄委員、坂本順子委員、永山伸一委員、中川賢一委員

（事務局） 増山市民協働推進課長、増淵課長補佐、小林主事、北本主事
公開・非公開の別（ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 ）
傍聴者 なし
報道機関 なし
議事録（概要）作成年月日 令和6年9月10日（火）

【協議事項等】

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員・事務局紹介
- 5 会長・副会長の選任
- 6 会長あいさつ
- 7 議事

議事録署名人に若松委員、松本委員が指名された。

- 1) 全体スケジュールについて

（事務局） 令和6年度審議会は1回の開催を予定している。

【質疑等】 なし

- 2) 令和5年度人権教育・啓発推進行動計画進捗状況報告について

（事務局） {資料1による進捗状況の説明および資料3による事前質問回答}

【質疑等】

(委員) 最近耳にして驚いたことに関連して2点事前に質問した。1点目の生理用品に関する質問については、孫娘が大きくなり、そろそろ生理も来るだろうから、生理用品はこういう風に持っていくのだと伝えたところ、学校にあるから大丈夫だと言われた。確かにそのように置いてあれば、女性として生理に関するストレスも少なく済むかもしれないと思った。資料に生理の貧困について記載されていたため、下野市はどのような運用なのか気になった。もう1点のインターネット上の人権に関する質問については、ニュースで中学生が同じクラスの女子の着替えを盗撮し、インターネット上で動画が拡散されてしまったという事件を耳にしてのことだ。子どもたちは嚴重注意等の対応がとられたそうだが、一度インターネット上に動画が拡散されてしまったため、それをお金儲けに利用されてしまうなど、子どもたちが当初考えもしなかったような形で広がってしまっている。こういう世の中の状況にあって、学校はインターネットについてどのような方法で教育をしているのかということが気になり、質問させていただいた。

(委員) 私がこれまで福祉の仕事をする中で、「合理的配慮」は非常に意識をしていた。本来の意味で理解するのはとても難しいことだと思う。また、最近は外国人の方が目に見えて増えている。それに伴い、近隣でゴミ捨てがルール通りになされないといった問題がおこった。初めはなんで分からないのだろうというのが近隣住民の声だったが、話し合った結果、そもそもルールが理解できていないのではないかという結論に至り、市にお願いをして外国の方も分かるような立札を立ててもらったり、直接お話をしたりすることができた。なので、すべてにおいてそういった、その方たちの声を聞いて、困っていることを聞いたり、反対に何かを説明したりすることが大事であると考えている。

(会長) 大変具体的な例を挙げていただいた。大学にも留学生は多いが、こちらの説明が伝わっているか不明なことがある。

(委員) 私も駅東に住んでいるが、外国の方は相当増えている実感がある。工業団地に自転車で向かう方や、朝から晩までビニルハウスで野菜の収穫をされている姿を見る。外国の方がいなければ仕事にならないというのが、下野市の農業、産業の現実なのだと思う。そうであれば、共生社会という観点から、住民サービスとしてどこまで地域社会の慣習や文化、ルール、マナーを周知するかというのは、広い意味で社会教育の一環でもあるので、力を入れた方が良いと考える。市民体育祭などにも、若い外国の方が参加している様子は見受けられないが、声がけしていくのもいいかもしれない。

(委員) 私は民生委員になってちょうど5年目だが、それまでただ見ていた街の様子と、一軒一軒と向き合いながらやっていくことによって得られる情報というのは、全く異なる。

私の住んでいる下古山も高齢化が進んでおり、一人暮らしの高齢者世帯もある。時代の流れなのだろう。民生委員として一軒一軒見守りをしているが、なかなか難しくて手に負えない部分もある。市からもかなり援助をいただいております、サロンなどいろんなことをやっております。私たちは、やはり声がけを大切にしていきたい。隣近所が声をかけていけば、かなり救われる人もいるのではないかと思います。育成会や自治会に入らない人も増えており、そういった人たちと一緒に、声をかけていくというのは、難しいことではあるが、外国の方に限らず、隣近所、そして子どもたちにも声をかけるということをきちんとしていけるのが良いと思う。

(会長) 鈴木委員、若松委員から声がけが大事という話をいただいた。高齢の方、障がいのある方の場合、抱え込まないように、声がけはやはり大事だと思う。虐待防止にもつながる。他に何か。

(委員) 私は青少年育成市民会議に所属しているが、資料3の2ページ下部にある「ネット時代の歩き方講習会」を実施している。インターネット上の人権についてはやはり誹謗中傷の書き込み等非常に問題になっていて、先ほどお話があった通り一度ネット上で画像等が拡散されると、完全に消すことが難しく、警察や関係機関からしても非常に難しい問題となっている。そのため県の青少年育成市民会議もこの講習会を展開しているのだが、インターネットというものは一過性のものではないので、様々な人権上の問題を考え続けていく必要があると思う。

(委員) 栃木県警の横断歩道ストップ運動が功を奏したように、啓発は非常に重要だと思う。コマーシャルを流すようになって、劇的に変わったと感じる。インターネットの問題とか、高齢者、外国人差別、ヘイトスピーチのような問題について、市でも広報等での周知はすでに行っていると思うが、やはりテレビの影響は大きいと思うので、同様にコマーシャル等を放映すると効果が大きいと考える。市単体では難しいかもしれないが。連合体や県で実施できると良いのだが。

(委員) テレビコマーシャルの放映等は市単体では難しいと考える。先ほど外国人の話がでたが、市ホームページ上で、内容が日本語では分からない方のために、カタログポケットというものを導入している。英語や中国語、ベトナム語など15言語を翻訳し、音声による読み上げや、高齢者が文字を読みにくい場合にポップアップで文字を大きく表示する機能を搭載しており、それにより外国の方もごみの出し方等を確認できるようになっている。グーグルの翻訳を利用した、133か国語のPDFファイルの閲覧等も可能であり、そういったことで市からの情報が分かるような機能を導入している。

(委員) 自宅近くのアパートでは、経営者が一軒一軒広報を配布している。自治会に加入していない住人に対して、アパート経営者の責任だと自主的に行っているようだ。外国の方や高齢者の一人暮らしでは自治会に入らない方もいるので、そういった方にも広報紙等が行き渡るようになると良いのだが。

(委員) 広報紙については、希望する管理会社への郵送等を行っており、市の取り組みや制度、ごみの出し方等が記載された市民生活ガイドブックについては、自治会加入の有無にかかわらず全戸にポストイングしている。

(委員) 私が小学校に勤めていた時も、各クラスに1人2人必ず外国人の子どもたちがいた。これから先もますます増えていくだろうから、日本語学級のようなものも必要になってくるかもしれない。

(委員) もうひとつ気になって質問しようかと考えたのが「えせ同和行為」について。事前に送付された資料を見て気になっていたところ、ちょうど今月の広報にえせ同和行為に関する記事が掲載されていた。こういう風に取り上げられるのだから、問題意識を持たなければいけないと感じたので、広報のように身近な媒体で情報提供していくのは効果的だと思う。

(委員) 市役所の入り口のところに「非核平和都市宣言」や「男女共同参画都市宣言」等様々な宣言に関する垂れ幕がかかっているが、ああいった宣言は何らかの条例等に基づくものなのか。また進捗管理などの取り組みはあるのか。目標を達成したら宣言は終了するのか、それともずっと掲げていくものなのか。

(事務局) 男女共同参画宣言については、平成28年4月に「下野市だれもが輝く男女共同参画づくり条例」が施行されるとともに、「第二次男女共同参画プラン」がスタートしたため、それをきっかけに、下野市が男女共同参画づくりに取り組んでいるのだという姿勢を内外に示すために都市宣言を行った。

(委員) 臨時議会の決議で宣言したとか、そういったものではなく、市政の方針として、市長のOKで宣言したということか。

(委員) 条例については議会の承認を得たもの。進捗管理に関しては男女共同参画プランの中で行っている。宣言自体は達成したら終了というものではなく、ずっと掲げていく形になるかと思う。

(委員) (非核平和都市宣言については) 今日1階ロビーで小金井空襲や広島・長崎原爆の展示を行っていたので、それも関連するのかもしれない。

(委員) それに加え、ちょうど本日、下野市の中学生が、壬生町と合同で広島市に非核平和推進事業で派遣されている。

(委員) 小金井空襲については、広瀬前市長が以前の議会で、今後もきちんと検証し広報すると答弁していたが、まとまった記録がない。下野新聞に出ていた鈴木氏が記録を残したというのを聞き、図書館に行って聞いてみたが、図書館には入っていないということだった。三次資料四次資料はあるが、肝心の一次資料がない。

(委員) 以前担当部署に所属していたのでお話しすると、遺族の方は多く残っていて、遺族の方が慰霊祭を開催している。広瀬前市長が答弁した通り、市としても慰霊祭を今後も大切にしていこうということで、市長が継続的に参列し挨拶をしたりしている。ただ、肝心の資料については、遺族や新聞社等に問い合わせをするなどしてかなり探したが、残念ながら正確な資料がないということだった。現在語り継がれているものを記事にしているという状態だ。

(委員) 遺族が高齢になるなか、本格的に調査しないと記録がなくなってしまうのではなか。編纂委員会のようにして調べ、記録として残したほうが良いと考える。少し話が外れてしまったが、これも広い意味で人権に関連する話なので。

(会長) おっしゃる通り平和あってこそその人権尊重だと思う。

いろいろとご意見をいただいたが、先ほど事務局から説明のあった内容についてはご承認いただいたということでよろしいか。

【異議なし】

(会長) 本日の議題はすべて終了とする。

8 その他
特になし

9 閉会